



甲南大学
経営学部

単位制長期インターンシップ導入・運営の課題 ー甲南大学BPコースの事例紹介ー

2016年12月6日(火)

BP運営委員長・教授 内藤文雄

JASSO主催・平成28年度インターンシップ等専門人材ワークショップ

目次

- 事例紹介の目的: スライド 3
- BPコースの設置動機: スライド 4-6
- BPコースの概要: スライド 7
- BPコースの教育上のねらい: スライド 8
- インターンシップ受入れ企業9社: スライド 9
- BPコースの単位認定: スライド 10-13
- BPコースへの参加: スライド 14-15
- BPコース設置の主要課題と対応: スライド 16-19
- BPコース運営上の課題: スライド 20-21
- 長期インターンシップ導入上の鍵: スライド 22
- 配付資料一覧: スライド 23

事例紹介の目的

- 長期インターンシップ(単位認定有)の事例の一つとして、
 - ★ 経営学専門教育のなかに設置した経緯
 - ★ 設置上の課題と具体的な対応
 - ★ 8年間の取り組みで明らかになった課題
 をできるだけ具体的にご説明すること
- 事前打ち合わせで「自慢話・PR不可」で、「他大学等様が今後導入する上で役立つ内容」の説明を要請
- 部外秘のデータを含めて全貌がわかる詳細資料のご提供

3

甲南大学経営学部BPコース

BPコース設置

(ビジネス・プロフェッション・コース)の設置動機(1)

- 創立者・平生鈇三郎の理念(天賦の特性を啓発する人物教育の率先・世界に通用する紳士・淑女たれ)に基づき、経営学部ではより実践的な教育を模索。また、学部教育と大学院教育との接続も視野
- 学部での経営学専門教育に産学連携の考え方を導入し、経営学を深く学びたい学生を育成。学部4年間+修士1年間=5年間の一貫教育を模索 → **新たなニーズ** + **向上心の高い学生の確保**
- 2004年4月～2006年3月: 複数の新たな教育プログラムを検討
- 2006年4月～2008年3月: **ビジネス・リーダー養成プログラム(BL)**の設置準備
- **2008年4月～: BLプログラムによる新たな教育を開始**

4

BPコースの設置動機(2)

- ビジネス・リーダー養成プログラムの3コース
BPコース ・ GBコース ・ APコース(会計大学院支援)
- 「ビジネス・リーダー養成」をキーワードに広報
- 少子化による入学試験合格者の平均偏差値の低下の歯止め(消極的ねらい)
- 新たな経営学教育の実験(積極的ねらい)
➔ 一方通行の専門知識提供教育から
双方向の専門知識応用教育への改革

コンセプト
の明確化

ビジネス・リーダー養成プログラム(BLプログラム)

3コース 共通		ビジネス・プロフェッション・ コース (BPコース)	グローバル・ビジネス・ コース (GBコース)	アカウンティング・ プラクティス・ コース (APコース)★
4年次	後期	(「専門演習Ⅱ」で卒業研究)	(「専門演習Ⅱ」で卒業研究)	(「専門演習Ⅱ」で卒業研究) AP応用2科目
3年次	後期	フルタイム・インターンシップ BPインターンシップ特別演習Ⅱ	海外留学 GB国際アクティビティーⅠ～Ⅲ	AP応用2科目
	前期			AP基礎2科目 AP経営コンサルティング論
2年次	後期	ストラテジー/オーガニゼーション/ アカウンティング/ファイナンス アカウンティング・マネジメント&ファイナンス) BPプレ演習 BPインターンシップ特別演習Ⅰa	GBコース英会話Ⅰ～Ⅳ GBビジネス英語Ⅰ・Ⅱ GBビジネス英会話 初級・上級 GB外書講読Ⅰ・Ⅱ GBコース独・仏・中・韓国語会話Ⅰ・Ⅱ GBビジネス特論Ⅰ・Ⅱ	AP基礎2科目
	前期			中級簿記 工業簿記
1年次	通年	基礎演習		「会計学総論」+外国語5科目の成績による選抜と資格確認(日商簿記検定3級)

★ 設置当初は「アカウンティング・プロフェッション・コース」と呼称

BPコースの概要

- 2010年9月より長期インターンシップを阪神間の有力企業8社で実施・2016年9月より9社(2社増1社減。9社中の1社は首都圏)
- 1年次後期の選抜試験合格後、2年次から1年半の特別教育を終えた3年次学生が3か月間、本社での経営管理業務を中心とした就業体験に参加 **資料2**
- (ビジネス・プロフェッション・コース:通称BPコース。現在、7期生のインターンシップ実施中)
- コース所属学生数: 6期生まで15名、7期生から21名
- 大学での事前・事後教育で20単位＋インターンシップ3ヶ月で18単位 ⇒ いずれも卒業必要単位(専門科目102単位以上)に含める

BPコースの教育上のねらい

- 大学での経営学の学びを有力企業の経営管理の現場で検証する
- アルバイト感覚ではなく、企業の一員として経営課題の発見と改善策の提案を経験できる
- 社長はじめ企業の幹部社員と知己を得て、コミュニケーションできる(社会人の意識・社員の本音・・・)
- 専門知識の検証／問題発見・解決能力／コミュニケーション能力の向上 ⇒ **就活・企業での職務にとってもプラス**

インターンシップ受入れ企業9社(東→西)



※ 通勤交通費は大学負担。また、東京での宿舎は大学が提供(食費等は個人負担) 9

BPコースの単位認定 教育・研究の一環

- ―― 2年次4月から3年次7月までのコース特別授業**5**科目・特別演習**3**科目を履修(必修) 資料9
- ―― 3年次9月から11月の**3**か月間の平日、**9**社への**フルタイム・インターンシップ**に参加(**21**人)
- ―― インターンシップの成果を企業ご担当者も参加する**発表会**で公表 ⇒ 2017年1月21日(土)13:00～ 資料6

※ 経営学部専門科目として合計**38**(/102)単位認定

(BPコースの特別授業・特別演習は履修登録科目の単位制限を受けない) 10

BP9期生(来年度)の 事前学習		2017年度			
		2年前期		2年後期	
* 演 習 別 ク ラ ス	BPプレ演習(1クラス)	水曜2限	内藤	※ アシックス商事 シマブンコーポレーション パソナグループ ミツ星ベルト ヤンマー	
	BPプレ演習(2クラス)	火曜2限	鷹尾	※ 加藤産業 神戸信用金庫 神戸ポートピアホテル トーホーグループ	
	BPインターンシップ 特別演習1a(1クラス)	※ アシックス商事 シマブンコーポレーション パソナグループ ミツ星ベルト ヤンマー		水曜2限	内藤
	BPインターンシップ 特別演習1a(2クラス)	※ 加藤産業 神戸信用金庫 神戸ポートピアホテル トーホーグループ		水曜3限	鷹尾
* 講 義 共 通 ク ラ ス	BPコース特論 S(ストラテジー)			木曜4限	加茂
	BPコース特論 O(オーガニゼーション)	水曜5限	北居		
	BPコース特論 A(アカウンティング)			月曜2限	杉山
	BPコース特論 F(ファイナンス)	月曜3限	馬場		

11

BP9期生(来年度)の 学習予定		2018年度			
		3年前期		3年後期	
* 演 習 別 ク ラ ス	BPインターンシップ 特別演習1b(1クラス)	水曜3限	内藤	※ アシックス商事 シマブンコーポレーション パソナグループ ミツ星ベルト ヤンマー	
	BPインターンシップ 特別演習1b(2クラス)	水曜3限	鷹尾	※ 加藤産業 神戸信用金庫 神戸ポートピアホテル トーホーグループ	
	BPインターンシップ 特別演習2(1クラス)	※ アシックス商事 シマブンコーポレーション パソナグループ ミツ星ベルト ヤンマー		土曜2限	内藤・北居・杉山
	BPインターンシップ 特別演習2(2クラス)	※ 加藤産業 神戸信用金庫 神戸ポートピアホテル トーホーグループ		土曜2限	鷹尾・加茂・馬場
講義 *クラス 共通	BP経営コンサル ティング論	木曜 4-5限	アットス リーム		
イ ン タ ー ン シ ッ プ	BPインターンシップ 1 BPインターンシップ 2 BPインターンシップ 3			9月～11月 毎週月曜一金曜 9:00-18:00	

12

BP2016
インターンシップ特別演習2



※ 21名を2クラス(11名と10名)で「週報」をもとに指導。画面は東京の2人とのテレビ会議の様子(2016/10/29)

13

BPコース概要

BPコースへの参加・3つの関門

- インターンシップへの参加のために段階的な選抜 **資料2・9**

2016/1/29 BPコース**所属のための選考試験**(39人選抜)

⇒ 合格者: 3/18 オリエンテーション

4/6から特別授業・特別演習開始

2017/2/8予定 インターンシップ**候補生の選考試験**(21人)

2017/7/25頃 インターンシップ**参加の最終確認試験**

- 「コース特別演習」と「専門演習」との両方に所属可能

14



BPコース説明会(1年生向け) 2016/10/6・138名出席 → 12/8にも開催予定

15

BPコース設置

BPコース設置の主要課題と対応(1)

- 将来構想委員会での検討 → 教授会提案・審議
→ 学長説明 → 大学本部会議提案(予算措置)
- 委員会検討・教授会審議での主な論点
 1. ヒト: 受け入れ先企業開拓 ・ 教員担当の負担 ・ 新プログラムへの事務室対応
 - 資料1
 - 資料3
 2. モノ: インターンシップの具体的な中身 ・ 事前学習 ・ 事後学習(成果) ・ 認定単位数 ・ 守秘義務
 - 資料4・5

16


BPコース設置の主要課題と対応(2)

- 委員会検討・教授会審議での主な論点(続)
 - 3. カネ: 学生の交通費・ビジネススーツ代・保険料
首都圏インターンシップでの住居費等補助
企業との交渉・打合せ経費
 - 4. 情報: BPコースに対する学生ニーズ
企業側の学生受け入れに対する障壁

資料8

17

受け入れ先企業開拓 ・ インターンシップの具体的な中身 ・ 企業側の学生受け入れに対する障壁

- 受け入れ先企業開拓が最大の難関  必須科目化・受入義務化
 - ➡ 意義・CSR(社会的貢献)・学生の成長
ルーティンワークの見直し・素人ならではの気づき
- インターンシップの中身の指定(具体化) 資料3
 - ➡ ルーティンワーク+現場経験は必要最小限
課題指示・データの社内利用・社内での成果発表
- 企業側の学生受け入れに対する障壁を緩和
 - ➡ 人事部の調整・対応社員の余裕・就職への理解

18

教員担当の負担 ・ 事前学習等

- 教員の新たな担当による負担感の軽減・意識づけ
 - ➡ 4期生までは通常の演習に所属不可
 - 5期生から通常の演習にも所属可
- 事前学習
 - ➡ 科目構成・レベル・アクティブラーニング中心
- インターンシップ期間中の指導
 - ➡ 企業側への丸投げは不可・土曜に学生相談・指導
- 事後学習(成果)
 - ➡ インターンシップ成果のまとめ・企業側の確認

資料6・7

BPコース運営上の課題(1)

- 当初の設置の動機・ねらいの達成の有無
 - ➡ おおむね達成・派遣学生数の増加
- 事前教育上の課題
 - ➡ 担当教員によるバラツキ(授業内容・レベル・方法)
- インターンシップ実施中の課題
 - ➡ 学生の状況把握・担当者の要求レベルとの差異
- 事後教育(成果)上の課題
 - ➡ 担当教員による指導のバラツキ(成果の厳密さ)

BPコース運営上の課題(2)

- インターンシップ参加と就職 資料7
- 学生ニーズの高まりへの対応 ➡ 派遣学生数の増加
 - ・既存プログラムの拡張
 - ・長期インターンシップの分割
(1ヶ月フルタイム2名×3回／2週間フルタイム2名×6回)
- キーパーソンの継承

長期インターンシップ導入上の鍵

- 受け入れ企業のご理解・ご協力(社会的貢献...) 資料8
- 企業との信頼関係(密な連絡・訪問...)
- 教員・職員の熱意(学生の成長への想い...)
- 学生のモチベーション維持(易きに流れる...)

BPコース:配付資料一覧

- 資料1 2016年度BPコース年間行事予定
- 資料2 志願者数・選抜者数・派遣学生数の推移
- 資料3 インターンシップ内容
- 資料4 インターンシップ成績評価票
- 資料5 インターンシップ協定書
- 資料6 成果発表レジュメ(一例)
- 資料7 BPコース学生の主な就職先
- 資料8 長期インターンシップの企業側考え方
- 資料9 ビジネス・リーダー養成プログラム概要(2015年度入学者用)